

【事業者向け】 放課後等デイサービス自己評価表

作成日 2023.10.10
事業所 鶴ヶ峰もえぎ本部

	チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	ご意見	改善策
		数が多かった方に「○」をつけさせて頂いております。				
環境・体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○				
	② 職員の配置数は適切であるか		○			
	③ 事業所の設備等について、バリアフリー化の配慮が適切になされているか			○	階段で3階まで登るため	施設の構造上、人が乗降出来るエレベーターの設置が難しい。改善の場合移転が必要。
業務改善	④ 業務改善を進めるための、PDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○				
	⑤ 保護者等向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○				
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○				
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○			
適切な支援の提供	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○				
	⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑩ 子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○				
	⑪ 活動プログラムの立案をチームで行っているか	○				
	⑫ 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○				
	⑬ 平日、休日、長期休暇に応じて、課題をきめ細やかに設定して支援しているか	○				
	⑭ 子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成しているか	○				
	⑮ 支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○				
	⑯ 支援終了後には、職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気づいた点等を共有しているか	○				
	⑰ 日々の支援に関して正しく記録を取ることを徹底し、支援の検証・改善につなげ定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断しているか	○				
関係機関や保護者との連携	⑱ ガイドラインの総則の基本活動を複数組み合わせ合わせて支援を行っているか	○				
	⑲ 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○				
	⑳ 学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、子どもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか	○				
	㉑ 医療ケアが必要な子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	○	○		不在のため(医ケア児)	現在看護師が不在のため医療ケアが必要な方の受け入れが出来ない状況。必要な場合、看護師の職員を配置する。
	㉒ 就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか		○			
	㉓ 学校を卒業し、放課後等デイサービス事業所から障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか		○		高3で退所される方がいない	現在まで高校3年生まで在籍される方がいらっしゃらない状況。今年度も在籍しておらず、今後移行される方がいらっしゃった場合は保護者様同意の元、情報提供を行う。
	㉔ 児童発達支援センターや発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○				
	㉕ 放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はある（地域自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか	○	○			
保護者への	⑳ 日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○				
	㉑ 保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対してペアレント・トレーニング等の支援を行っているか	○				
	㉒ 運営規程、支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○				
	㉓ 保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○				

